14　名古屋市（愛知県）

（4）名古屋 KETTA フェスティバル2002

■ 施策内容

社団法人　名古屋青年会議所が主体となり、平成 14 年 10 月 5 日,6 日に、名古屋市中区久屋大通公園（久屋広場・エンゼル広場・光の広場）において、「名古屋 KETTA フェスティバル 2002」を実施しました。

１．自転車安全利用の啓発
２．ちびっこマナースクール
３．サイクリング体験会
４．自転車試乗、無料メンテナンス
５．アーリーキャット（自転車のオリエンテーリング）
６．パネルディスカッション
７．クリティカルマスの発生
８．疋田智　氏（ツーキニスト）の講演
９．自転車道のある交差点アイデアコンペ（国土交通省　名古屋国道工事事務所）
１０．自転車利用啓発デザインコンクール（名古屋市）

名古屋 KETTA フェスティバル２００２　ホームページアドレス
→　http://www.ketta.fc2web.com

■ 施策目的

参加者に自転車のルール・マナーを指導し、同時に楽しさや健康増進効果、環境によい点などを伝え、積極的に自転車を利用するように意識を変えていただくことを目指します。

■ 施策実施状況

自転車安全利用の啓発

自転車利用啓発デザインコンクール

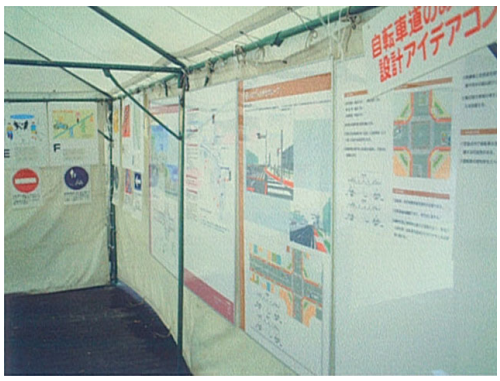
14　名古屋市(愛知県)

(4)名古屋 KETTA フェスティバル2002

ちびっこマナースクール

サイクリング体験会　1

サイクリング体験会　2



自転車道のある交差点アイディアコンペ
（国土交通省　名古屋国道工事事務所）

14 名古屋市(愛知県)

(4)名古屋 KETTA フェスティバル2002

COVER STORY vol.2

中心にあるカフェに自転車のまま乗り入れて お茶、飾りは自転車レーンを快適に走って 買い物をする、そんなまちをつくって 気軽に体験させてくれた。

名古屋KETTA（ケッタ）フェスティバル、10月5、6日、金庫に訪れた約2万人の入場者は360度の角度から自転車を見つめた。おもしろ自転車に乗り、BMX大会を観戦し、ちょっと運動の事を考えてみたり、自転車の楽しさを知ったり、大勢の人が自転車を楽しんだ2日間となった。スポーツ自転車に乗っているちびっこにも自転車の事を考えさせてくれた。

多くの企画が用意された中、もっとも人を集めたのがサイクルカフェ。「面白い」とか、「まずは放置自転車をどうにかするのが先だんじゃないの？」ということもあったが、まあそれはそれ、コレはコレってことでまずは楽しく遊ぶものいいことしてみませんか？　そんなわけでまち乗り系自転車カフェをつくってみました。

表現・中心に設置された「サイクルカフェ」ではメッセンジャー、サイクリスト、クリティカルマス、BMXライダーなど一般の人には普段あまり交流がない人たちが同じ空間で談笑する「自転車感」をデスカッションしている風景がみられた。

会場内で行われたアンケートはこんな結果を残してくれた。

「自転車を通勤・通学したいと思いますか？」

(1) 思う――93%

(2) 思わない――5%

でも、こんなアンケート結果が出ると、目くじら立てて主張を公表に出らせる、環境を守れだとかなんかいしそうなところ。だが、今回のイベントを終えた今なら、自転車に関わっている人も含めて「もうそこにあるべき姿がない、まずはそれぞれ自転車を楽しんでみましょう」という考え方ができるようになったと思う。

自転車・道・ルールなどと騒し始めることもしてもどうしようもないこと。そうなるとどうしてもまちづくりは進んでいってしまう。住み方だとか、用途などの問題は後からついてくればいいのだと思われた。まちづくりは、そこに住む人たちが楽しめる環境を整えることで次の世代へ残していくべきものだと思います。そうすれば、まちの雰囲気がまっかけとなり自然とこの人が動きだす。そして全国のように盛り上がる。半のやりかたにちづくりの手法をみた。人が自転車を楽しんでいれば、日本でも自転車が軽快に使われる道がもっとできるだろう。

実行委員会の原俊彦氏は言う。「行政の力ももみんな個人的には現在の状況を良くないと思っています。でもインフラ整備ってすぐに対応できるわけがない。今回のイベントで5年後でも10年後でもいいので何かが変っていけばいいのだと思っています。もうちょっと待ってみましょう。必ず日本の道は変りますから。待てそうな気がしたまちができそうな気にさせてくれた。

黙々と道を走り、自転車や行政に不満を言ってても、待っていない。秋です。まちに訪ちすぐこへ行っても気持ちのいい季節です。競場の皆さんもおしゃれに自転車を楽しみましょう。

「名古屋KETTAフェスティバル」、次回の予定はまだ未定だという。だが、きっとまた動き出すんだろうと思う。時間して来年の開催を待ちたい。

KETTAフェスティバル

自転車まちづくり

Photo:Takehiro NAITO,Text:Bicycleclub

13 BICYCLE CLUB

名古屋 KETTA フェスティバル 2002　記事

［出典：Bicycleclub 第 18 巻 224 号］

■ 工夫した点

楽しく遊びながらルールを学んでもらうことを考え、標識で神経衰弱を実施しカードを記憶することにより、標識の意味も記憶してもらえるように工夫しました。

名古屋造形デザイン専門学校に協力していただき、自転車の安全かつ適正な利用促進を広報するデザインを募集し、来場者の投票により優秀作を選出しました。

設計会社協力のもと、国土交通省名古屋国道工事事務所と『自転車道のある交差点設計コンペ』を開催し、来場者の投票により優秀作を選出しました。